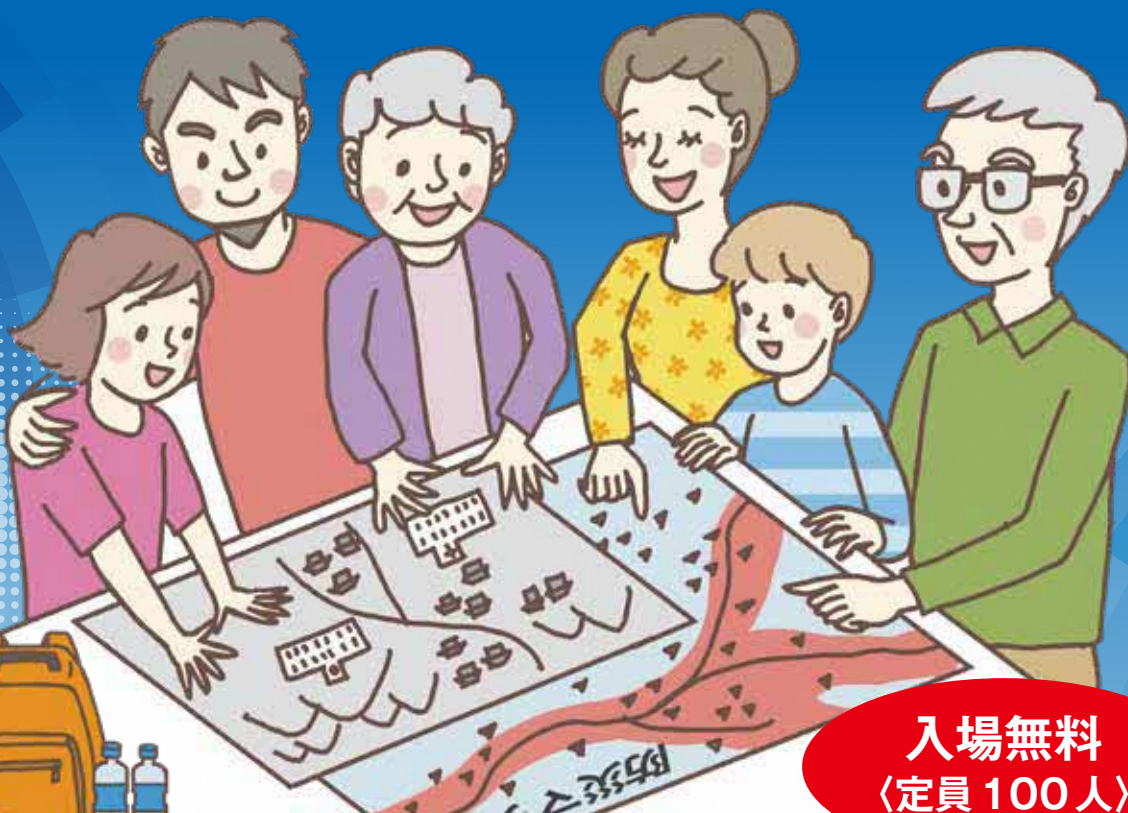


令和6年度 島根県原子力講演会

# 原子力防災と放射線

## —原子力複合災害への備え—



入場無料  
〈定員100人〉

原子力防災に必要なことは—

「屋内退避」や「避難」について  
分かりやすく解説します

講師 安田 仲宏氏

(福井大学附属国際原子力工学研究所 教授)



開催日

令和6年

10月12日(土) 14:00~15:30  
(13:30開場)

会場

くにびきメッセ5階  
501大会議室

(松江市学園南1丁目)

+オンライン  
(ZOOM)

URLを後日メールにてご連絡いたします。



主催：島根県

共催：松江市、出雲市、安来市、雲南市

## 講演内容

私たちは、地震の時には初動で頭を守るために「机の下に隠れる」と教わってきました。原子力災害では「屋内退避」「避難」と言われます。次の世代に伝えられるよう、身の回りの放射線のこと、原子力災害に備える理由とともに、万が一の時に身を守る方法を学びます。

### 〈講師プロフィール〉



講師 **安田 仲宏氏**  
(福井大学附属国際原子力工学研究所 教授)

1969年 岐阜県大垣市生まれ。

元放射線医学総合研究所(放医研)主任研究員。

大学では原子核や放射線について学び、博士号を取得後は放射線医学総合研究所にて放射線の可視化や低線量の影響を調べる研究開発に携わる。

震災後は、放医研において、関係省庁・現地との連絡調整(2011年3月)、現地、国の対策本部では、国・県の行政担当、消防、医師、東電職員らとの連携により、傷病者搬送などに携わった(4月)。その後、内閣官房にて、原子力災害専門家グループの専門家を支援。

2012年4月より福井大学附属国際原子力工学研究所の原子力災害・危機管理部門に赴任。現在は部門長を務め、敦賀市役所などと防災地域連携を進める活動を推進。2020年9月からは東日本大震災・原子力災害伝承館(福島県双葉町)の上級研究員として、放射線防護対応を振り返り、今後の対応に生かす活動を推進。



## 申し込み方法

**入場無料**  
(定員100人)

※事前申し込み無しでも参加いただけますが、席数に限りがあります。  
※係員の指示に従っていただけない場合は、退席いただくことがあります。

### 1 しまね電子申請サービス

右の二次元バーコードからお申し込みください。



申込締め切り  
令和6年10月9日(水)

### 2 メール

メールでのお申し込みの際は、件名を「原子力講演会申込」とし、

①参加者氏名②電話番号③参加を希望する会場(くにびきメッセorオンライン)をご記入の上、送信してください。

[申込先メールアドレス]

[gen-an@pref.shimane.lg.jp](mailto:gen-an@pref.shimane.lg.jp)

### 3 Fax

本紙に必要事項を記入の上、お送りください。Fax:0852-22-5600

### FAX 申込み書

参加を希望する会場

くにびきメッセ501大会議室

オンライン(ZOOM)

ふりがな

名前

電話番号

メールアドレス

※個人情報の収集、利用については本講演会に係わる事務に必要な範囲内に限り利用します。

問い合わせ先：島根県防災部原子力安全対策課 Tel0852-22-5667